



<宮崎県のMTDLP取り組み>

宮崎県作業療法士会 地域包括ケアシステム推進部理事

MTDLP推進委員

濱田正貴

宮崎県でのMTDLPの取り組み

MTDLPを理解するためには？

- MTDLP基礎研修 + 実践者研修終了まで一連の流れでもっていく

MTDLPの実践を継続するには？

- ステップアップ研修会など毎年外部講師を招いたり、近年では九州MTDLP会議主催の研修会を通して向上を図る

MTDLPを活用するには

- 医療・介護の現場、地域包括ケアの中での実践、養成教育(実習)など

MTDLP実践者を増やすためには？

- GW時にファシリテーターの事例を1例目に持ってきて、どの様に発表して、まとめていけば良いのかを行っている

背景情報

H25年度

協会がMTDLPプロジェクト開始 全国での説明会に、会長、副会長の5名で参加

<学会特別講演>

福島県作業療法士会会長：長谷川敬一様（竹田総合病院）MTDLPに対し先駆的に取り組まれている話、進め方、医療班で困っていることなどについて講演

H26年度以降

生活行為向上マネジメント普及啓発特設委員会を立ち上げ、県士会員へ周知を徹底

<展開ポイント>

宮崎県士会長や理事が率先してMTDLP実践者研修を修了することを県士会として位置付けた。現在も理事・部長はほぼ実践者研修を修了している

<外部講師による研修会>

～MTDLP関連～

「MTDLPの書き方研修」 MTDLP事例班 柴田八衣子先生（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

「MTDLPステップアップ研修会～MTDLPのコツを学びませんか～」

MTDLPプロジェクトメンバーで他領域の発展に貢献 塩田繁人先生（広島大学病院）

「地域包括ケアシステムにおける作業療法士の実践～今求められている作業療法士の実践道～」

MTDLP推進プロジェクト特設委員会委員長 谷川真澄先生

他職種連携セミナー：

「制度改正やリハビリテーション専門職に期待される役割」 川越雅弘先生（国立社会保障・人口問題研究所）

学術部・福利厚生部合同宿泊研修：

「地域での支援～生活行為向上マネジメントを交えて」

MTDLPと地域について保険者の立場から 宮本昌寛先生（滋賀県健康医療福祉部健康医療課 健康づくり担当）

<地域ケア会議：OT道場>

H27年より地域ケア会議の資する研修会として企画

大分県の佐藤暁先生、大分県MTDLP推進委員の佐藤友美先生

<地域ケア会議の出席要件>

MTDLP実践者（MTDLP実践者研修修了者）である

地域ケア会議に資する人材育成研修会を修了

<九州MTDLP会議>

MTDLPプロジェクト終了後、九州では九州MTDLP会議を九州作業療法士会長会下部部会として承認(H30.1).
第1回九州作業療法士学会に「MTDLPの成り立ちと今後」～臨床実習についての活用について、みんなで考えよう～
企画し参加。また、鹿児島でのMTDLP他領域研修会を開催。

メンバーは各九州MTDLP推進委員 + 県士会から推薦を受けたもの(MTDLP指導者、養成教育、部局)

実践者終了までの有効な解決策

解決策 1

- MTDLP基礎研修時にMTDLP実践まで終了できるよう工夫する(エピソードや書き方など)

解決策 2

- 実践者研修時、書き方研修とGWではファシリテーターの事例を1例目に持ってきて、どの様に発表して、まとめていけば良いのかを行っている

解決策 3

- なぜ実践終了しないといけないのかを、他の研修会時に継続して示している。また、いろいろな領域でのMTDLP実践事例を外部講師を招き示している